

南信州地域での主な長野県森林づくり県民税活用事業について

南信州地域振興局 林務課

1 南信州地域の状況

令和6年度実績額は約6億6千万となり、前年度比104%となった。

〔森林税活用事業費の推移〕

(単位：円)

区 分	R 5 実績額	R 6 実績額		R 7 予算額	
			前年度比		前年度比
全県分	489,953,926	660,704,818	135%	817,751,000	123%
南信州地域	86,388,846	90,182,368	104%	120,185,100	133%
割合(%)	17.6%	13.6%	—	14.7%	—

2 主な県民税活用事業

(単位：ha)

区 分	R 6 年度実績		R 7 年度見込み		備 考
	県	南信州	県	南信州	
【再造林の加速化】 信州の森林づくり事業〔人工造林・初期保育の嵩上げ〕	238	25.39	580	49.09	長野県主伐・再造林ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援
【再造林の加速化】 再造林省力化モデル推進事業〔架線系による省力化モデル〕	5箇所	4箇所	7箇所	7箇所 (うち3箇所はR6繰越)	再造林の省力化を図るために必要な架線の設置・撤去を支援
【防災・減災のための里山整備】	177	29.6	527	71.29	里山の間伐等の森林整備を支援

(単位：千円)

区 分	R 6 年度実績	R 7 年度見込み	備 考
市町村森林整備支援事業	32,114	26,953	ライフライン等の保全対策、観光地の景観整備、緩衝帯の整備、森林の病虫害対策を支援

再造林の加速化

南信州地域振興局 林務課

1. 信州の森林づくり事業〔人工造林・初期保育の嵩上げ〕

- 趣 旨 長野県主伐・再造林推進ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈等に
必要な標準的な経費を全額支援
- 事業内容 地拵え、植栽、下刈り、鳥獣害防止施設
- 事業主体 市町村、森林組合、林業事業体等
- 補助率 10/10以内（国庫含む）
- 実績 (単位：ha, 円)

市町村	R 6 実績			R 7 実績見込み		
	面積	補助金額	うち森林税	面積	補助金額	うち森林税
飯田市				5.18	12,533,000	3,530,200
松川町	4.00	4,722,400	1,844,700	4.52	9,507,000	2,742,900
高森町				1.79	2,514,000	704,000
阿智村	10.78	7,412,000	2,223,600	16.29	19,434,000	5,830,200
平谷村	3.57	7,770,000	2,331,000	3.50	986,000	295,800
天龍村				5.26	14,749,000	4,424,700
根羽村	7.04	10,987,000	4,671,600	12.55	35,536,000	10,285,500
合 計	25.39	30,891,400	11,070,900	49.09	95,259,000	27,813,300

○ 実施状況



2.〔再造林省力化モデル推進事業〕

- 趣 旨 架線を活用した一貫作業による主伐後の再造林に係る資材の運搬を行う場合、架線の架設撤去に係る経費等に対して支援
- 事業内容 架線の設置撤去
- 事業主体 市町村、森林組合、林業事業体等
- 補助率 定額10/10以内
- 実績 (単位：ha, 円)

市町村	R 6 実績			R 7 実績見込み		
	団地	主伐面積	補助金額	団地	主伐面積	補助金額
飯田市	遠山中学有林	0.84	886,900	遠山中学有林	1.40	886,500
	風越	0.78	1,200,000	オガラ沢	1.00	987,900
	—			木沢本谷	2.20	1,245,800
				此田（設置） ※	2.20	774,800
				〃 （撤去）		441,300
天龍村	—			見遠 ※	2.84	886,900
				天龍村有林(架設)※	2.00	774,800
				〃 （撤去）		441,300
根羽村	根羽村有林	3.32	1,214,200	—		
	小栃	1.66	423,300			
平谷村	—			高嶺	3.12	1,245,800
計	4箇所	6.60	3,724,400	7箇所	14.76	7,685,100

※令和6年度からの繰越事業分

○ 実施状況



油圧式集材機



集材作業

3.〔再造林推進シカ捕獲サポート事業〕

- 趣 旨 2050ゼロカーボンの実現に向け、若い森林への更新の加速化を図り、主伐後の造林地の確実な更新を測るため、造林地周辺で行う効率的な捕獲活動を支援する。
- 事業内容 ニホンジカ等の食害から植栽後の苗木を守るため、林業事業体が捕獲者と連携して行うわなの見回り等の活動経費に対して支援
- 事業主体 市町村
- 補助率 10/10以内

- 実績 (単位：円)

事業主体	実施内容	補助金額	
		R 6 実績	R 7 実績見込み
根羽村	「林内捕獲サポート隊」が行うわなの見回り活動、安全研修等	588,590	327,470
計	1箇所	588,590	327,470

- 実施状況



事業イメージ



根羽村捕獲サポート隊によるわなの見回り

防災・減災のための里山整備

南信州地域振興局 林務課

〔防災・減災のための里山整備〕

- 趣 旨 未整備の里山のうち、「防災・減災」のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援
- 事業内容 間伐（搬出間伐を含む）、作業路開設、付帯事業
- 事業主体 市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等
- 補助率 9/10以内（一部国庫含む）
- 実績

	R 6 実績		R 7 実績見込み	
	面積(ha)	補助金額(円)	面積(ha)	補助金額(円)
飯田市	18.18	8,577,700	21.71	11,093,400
松川町	0.13	67,500	4.50	1,983,600
高森町	1.00	357,300	3.00	2,004,300
阿南町	-	-	32.60	16,011,000
阿智村	4.23	1,539,900	0.30	468,000
平谷村	-	-	-	-
根羽村	-	-	-	-
下條村	5.25	1,890,900	1.08	561,600
売木村	-	-	4.50	1,755,000
天龍村	-	-	-	-
泰阜村	-	-	-	-
喬木村	-	-	3.60	1,114,200
豊丘村	0.81	254,700	-	-
大鹿村	-	-	-	-
合 計	29.60	12,688,000	71.29	34,991,100

※補助金額は森林税充当分のみ記載

○ 実施状況（R 6 年度）



阿智村 荒谷・宮の原地区



飯田市 龍江尾林地区

県民が広く親しめる里山づくり

南信州地域振興局 林務課

1. 〔開かれた里山の整備事業〕

- 趣 旨 より多くの県民が里山に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進
- 事業内容 花木等の植栽、下刈り、修景林間整備、竹林整備等
- 事業主体 里山整備利用推進協議会又は里山整備利用推進協議会の構成員
- 補助率 9/10以内
- 実績
 - ・ R 6 実績

市町村	施業内容	面積(ha)	補助金額(円)
喬木村	修景林間整備	(70本)	2,381,400
合 計		(70本)	2,381,400

- ・ R 7 実績見込み なし

○ 実施状況



2. 〔開かれた里山の整備・利用促進事業〕

○ 趣 旨 地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用の推進及びより多くの県民等が広く親しめる「開かれた里山」の整備・利活用の推進経費に対して支援する

○ 事業内容 里山の利活用に係る地域活動経費の補助、資機材等の導入補助
 一般：里山整備利用地域の初期活動経費（最大3年間）を支援
 里山：広く県民に開かれた里山づくり（最大2年間）を支援
 ※一般は累計150万円、里山は累計100万円を事業費の上限とする

○ 事業主体 里山整備利用推進協議会

○ 補助率 里山整備利用地域活動推進事業（活動経費） 10／10以内
 里山資源利活用推進事業（資機材導入、遊歩道整備） 3／4以内

○ R7実績見込

里山整備利用地域活動推進事業 9箇所、補助金額：4,465,200円

市町村	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)	備考
飯田市	虎岩地区里山整備利用推進協議会	里山整備活動（支障木伐採、安全技術講習会等）	466,761	465,450	里山 1年目
松川町	部奈地区里山整備利用推進協議会	里山整備活動（景観整備）	150,645	148,000	一般 2年目
阿智村	西上町里山づくり推進協議会	里山整備活動（景観整備、遊歩道整備、植栽）	800,450	800,000	里山 2年目
〃	中山地区里山整備協議会	里山整備活動（景観整備）	806,106	800,000	里山 2年目
〃	備中原地区里山整備利用推進協議会	里山整備活動（景観整備）	563,566	562,750	一般 2年目
〃	下清内路里山整備利用推進協議会	里山整備活動（竹林整備、景観整備）	563,483	562,000	一般 1年目
喬木村	伊久間里山整備協議会	里山整備活動（景観整備、下刈）	418,000	418,000	里山 1年目
〃	富田里山整備協議会	里山整備活動（景観整備、下刈）	568,167	568,000	里山 1年目
〃	喬木村加々須地区里山整備利用推進協議会	里山整備活動（景観整備、下刈）	141,078	141,000	里山 1年目
合計		9件	4,478,256	4,465,200	

里山整備利活用推進事業 6箇所、補助金額：2,573,250円

市町村	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)	備考
飯田市	虎岩地区里山整備利用推進協議会	資機材導入（刈払い機）	205,000	153,750	里山
阿南町	川尻・矢野地区里山整備協議会	資機材導入（チェーンソー、刈払い機他）	900,660	675,000	一般
阿智村	中山地区里山整備協議会	資機材導入（チェーンソー他）	359,920	269,250	里山
〃	備中原地区里山整備利用推進協議会	資機材導入（ハンディソー、刈払い機他）	317,040	237,750	一般
〃	下清内路里山整備利用推進協議会	資機材導入（チェーンソー他）	694,980	516,750	一般
喬木村	富田里山整備協議会	資機材導入（ライトアップ設備設置等）	961,400	720,750	里山
合計		6件	3,439,000	2,573,250	

【参考】南信州管内の地域協議会リスト 令和7年4月1日現在 27団体

市町村名	協議会名
飯田市	野池協議会、米川里山整備利用推進協議会、虎岩地区里山整備利用推進協議会
松川町	部奈地区里山整備利用推進協議会
高森町	牛牧里山整備協議会
阿南町	川尻・矢野地区里山整備協議会
阿智村	春日地区里山整備利用推進協議会、戸沢地区里山整備利用推進協議会、西上町里山づくり推進協議会、中山地区里山整備協議会、中下町里山整備協議会、備中原地区里山整備利用推進協議会、 <u>下清内路里山整備利用推進協議会※R6新規</u>
根羽村	高橋源流の里山整備協議会、取手・横旗地区里山整備協議会、月瀬地区里山整備利用推進協議会
下条村	新井里山整備協議会
天龍村	向方区里山整備利用推進協議会
喬木村	氏乗里山整備協議会、大島地区里山整備利用推進協議会、大和知区里山整備利用推進協議会、伊久間里山整備協議会、富田里山整備協議会、喬木村加々須地区里山整備利用推進協議会、喬木村阿島地区里山整備利用推進協議会
豊丘村	堀越里山整備協議会
大鹿村	清水地区里山整備利用推進協議会

広く県民が利用する施設等の木造・木質化等

南信州地域振興局 林務課

〔木造・木質化支援事業（広く県民が利用する施設等の木造・木質化）〕

- 趣 旨 民間施設等の木造・木質化等の支援、県有施設の木造・木質化の推進
- 事業内容 広く県民が利用する施設や子どもの居場所の木造・木質化及び併せて行う木の調度品等の設置
- 事業主体 市町村、民間事業者等
- 補助率 2/3～1/3以内
- 実績（見込）

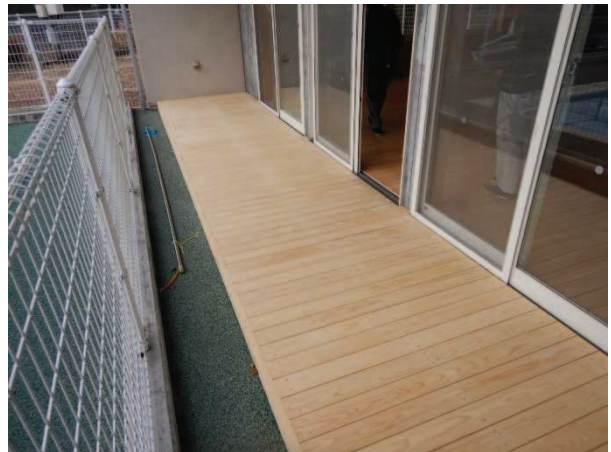
・ R 6 実績

市町村	事業主体	施設名	内容	補助金額（円）
天龍村	天龍村	天龍保育所	内装木質化 104㎡ （ウッドデッキ等）	562,000

・ R 7 実績見込み なし

※「あたりまえに木のある暮らし推進事業」から事業名が変更

○ 実施状況（天龍保育所）



やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等

南信州地域振興局 林務課

〔学びと育ちの森づくり推進事業〕

- 趣 旨 長野県内で学び育つ児童・生徒が森林・林業に親しみを感じ、次世代の森林づくりの土台となる豊かな原体験や知識を培うことを目的として、森林を活用した体験学習活動に必要な森林環境教育フィールド整備等を支援する
- 事業内容 森林環境教育フィールドの整備、森林環境教育活動の促進
- 事業主体 市町村、学校法人及び支援団体
- 補助率 森林環境教育フィールドの整備 9／10以内
森林環境教育活動の促進 10／10以内
- 実績 1箇所、補助金額：2,700,000円

事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)	備考
平谷村教育委員会	森林環境教育フィールドの整備 ・ロープ柵設置 ・ウッドチップ敷均し 森林環境教育活動の促進 ・環境教育指導 ・ツリークライミング	2,967,000	2,700,000	

- R7実績見込み なし

【参考】R 6 平谷村 学校林進入路のロープ柵設置



森林サービス産業など森林の多面的利用の支援

南信州地域振興局 林務課

1.〔森林サービス産業活動支援事業〕

- 趣 旨 森林空間を健康・観光・教育等の多様な分野とつながることにより創出される新たなサービス産業である「森林サービス産業」を促進するため森林空間整備・施設整備を支援する。
- 事業内容 森林空間整備、施設整備
- 事業主体 市町村
- 補 助 率 森林空間整備 9／10以内
施設整備 1／2以内
- 実績

市町村	事業内容	R 6 実績		R 7 実績見込み		備考
		事業費 (円)	補助金額 (円)	事業費 (円)	補助金額 (円)	
松川町	森林セラピー基地 「およりての森」 ・バイオトイレ設置	6,490,000	1,815,000	—	—	補助率 1／2以内
阿智村	森林セラピー基地 「いわなの森遊歩道」 ・遊歩道改修	3,000,000	1,500,000	2,970,000	1,400,000	補助率 1／2以内
喬木村	九十九谷公園 ・歩道等整備 ・間伐、支障木整備	4,125,000	2,062,500	2,472,800	1,400,000	補助率 1／2以内 9／10以内

- 実施状況 参考 R 6 阿智村 いわなの森（遊歩道改修）



2.〔森林サービス産業人材育成支援事業等〕

- 趣 旨 里山の森林整備や多面的利用を推進し多くの関係者をコーディネートする人材の育成や、里山の整備や利活用を進めるうえで安全な作業を行うための技術講習を支援する
- 事業内容 リーダー育成研修、活動参加者への技術研修等
- 事業主体 里山整備利用推進協議会等
- 補助率 10／10以内
- R7実績見込 1箇所、補助金額：52,000円（予定）

事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)	備考
南信州林業研究会	竹林整備講習会	52,000	52,000	

- 実施状況 令和7年12月頃の開催に向け飯田市等の関係者と調整中
【参考】 R5～6松川町 むらやま公園（竹林整備講習会）



市町村森林整備支援事業

南信州地域振興局 林務課

〔ライフライン等保全対策・観光地の景観や緩衝帯の整備・病虫害被害対策〕

- 趣 旨 ライフライン沿いの危険木の伐採や病虫害被害対策など、住民生活に直結する地域の課題解決にむけ、市町村が行うきめ細やかで迅速な取り組みに対し支援する
- 事業内容 ライフライン等の保全対策、観光地等の景観整備、緩衝帯の整備、森林の病虫害被害対策
- 事業主体 市町村
- 補助率 9/10以内
- 実績（見込）

市町村名	令和6年度実績		令和7年度実績（見込）	
	事業内容 (箇所数)	補助金額 (千円)	事業内容 (箇所数)	補助金額 (千円)
飯田市	ライフライン(4) 森林病虫害(1) 緩衝帯(1)	3,865	ライフライン(1) 観光地(2) 緩衝帯(1)	3,837
松川町	森林病虫害(1)	2,342	森林病虫害(2)	2,800
高森町	ライフライン(1) 緩衝帯(2)	4,477	ライフライン(2) 緩衝帯(1)	3,000
阿南町	ライフライン(1)	1,470	ライフライン(1) 森林病虫害(1)	2,900
阿智村	ライフライン(1) 緩衝帯(1) 森林病虫害(1)	4,246	ライフライン(1) 緩衝帯(1)	3,700
平谷村	緩衝帯(2)	2,168	緩衝帯(2)	1,166
根羽村	観光地等(1)	564	—	-
下條村	森林病虫害(1)	891	森林病虫害(1)	1,800
売木村	ライフライン(2)	929	ライフライン(1)	900
天龍村	ライフライン(1) 観光地(1)	1,205	ライフライン(1)	1,000
泰阜村	ライフライン(3) 緩衝帯(2)	4,290	ライフライン(1) 緩衝帯(1)	1,350
喬木村	ライフライン(1)	2,010	ライフライン(1)	2,000
豊丘村	ライフライン(2)	2,237	ライフライン(1)	1,500
大鹿村	ライフライン(1) 観光地(1)	1,420	ライフライン(2)	1,000
計	ライフライン(17) 観光地(3) 緩衝帯(8) 森林病虫害(4)	32,114	ライフライン(11) 観光地(2) 緩衝帯(6) 森林病虫害(4)	26,953

○ 実施状況（R6年度）



緩衝帯の整備
(平谷村 上の空地区)



観光地等の景観整備
(天龍村 和知野キャンプ場)

森林づくりを推進するための普及啓発、森林税事業の評価・検証

南信州地域振興局 林務課

〔みんなで支える森林づくり推進事業〕

1 令和6年度実績 ◆執行額：206,998円

(1) 税PRリーフレットを活用した広報 (別紙参照)

印刷数：7,500枚 執行額：69,300円

ア 組回覧を利用した広報 約7,200枚使用
市町村組回覧での配布を依頼

○実績：令和6年8月又は9月に実施(13市町村)

イ 市町村窓口へ配架 約300枚使用
14市町村窓口へ配架

ウ その他
税リーフレットを活用したPRを実施
・企画展示(飯田合同庁舎)に併せて配架



飯田合同庁舎1階展示

(2) 広報誌を活用した広報

ア 広報誌「林業南信州」による広報

- ・令和7年3月下旬発行
- ・執行額70,000円
- ・住民(組回覧)、行政機関・団体、学校等へ9,500部配布

イ 市町村広報誌を利用した広報
・市町村広報誌への掲載を依頼
○実績：9町村で掲載済

(3) ケーブルテレビの動画配信による広報※

令和7年7月～12月まで依頼

○実績

7月：1回、8月：0回、9月：1回
10月：2回、11月：2回、12月：2回
延べ80回放映

第4期長野県森林づくり県民税(森林税)を紹介します!

○森林づくり県民税を活用する主な事業

I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり

- 1 再造林の加速化
◇再造林等の働きかけ補助により主伐・再造林を促進し若い森林への更新を加速化
- 2 防災・減災のための里山整備
◇土砂災害や流木被害等を防止するための里山の間伐等整備

II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり

- 3 県民が広く親しめる里山づくり
◇県民が広く利用できる「開かれた里山」の整備・仕組みづくり
- 4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化等
◇県民が利用する公共施設の木造・木質化
◇民間施設や子どもが主に利用する施設の木造・木質化
- 5 やまほいくのフィールドや学校林の整備等
◇信州やまほいく認定園のフィールド整備
◇学校林の整備支援
- 6 まちなかの緑・街路樹の整備
◇信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づくまちなかの緑化・整備
◇街路樹の整備支援

III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援

- 7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援
◇森林の健康利用や森林環境教育、観光利用等に取り組む団体の活動支援
◇森林セラピーやエコツーリズム等のガイド、森林環境教育の指導者、里山管理人材等の育成
- 8 多様な林業の担い手の確保・育成
◇森林・林業に関わる人材の裾野拡大
◇他産業との兼業や季節的な雇用など多様な林業の担い手への支援

IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決

- 9 ライフライン等保全対策
- 10 河川沿いの支障木等伐採
- 11 観光地の景観や緩衝帯の整備
- 12 病害虫被害対策

○森林づくり県民税の仕組み

	個人	法人
納税義務者	県内にお住まいの方	県内に事務所等をする法人
税 額	年額 500円	年額 現行の均等税額の5%相当額 資本金等の額に応じて1,000円から40,000円
課税期間	令和5年度から令和9年度までの各年度分	令和5年4月1日から令和10年3月31日の間に開始する各事業年度分

詳しくは長野県林務部ホームページをご覧ください。 [長野県森林税](#) [後 掲](#)

4 広報「林業南信州」No.232



再造林整備(飯田市)



森林セラピーロード(阿智村)



竹林整備講習会(松川町)



2 令和7年度実績見込 ◆執行見込額：243,000 円

(1) 地元新聞を活用した広報

南信州新聞 朝刊

発行部数：約 21,500 部

発行エリア：南信州地域（飯田市、
下伊那郡）及び上伊那
の一部

執行額：71,280 円

（別紙紙面参照）



(2) 広報誌を活用した広報

ア 広報誌「林業南信州」による広報（令和8年3月発行予定）

部数：9,500 部 執行予定額：70,000 円

イ 市町村広報誌を利用した広報

市町村広報誌への掲載を依頼（令和7年5月）

○実績：令和7年9月末現在、5村で掲載済

(3) ケーブルテレビの動画配信による広報※

令和7年6月～12月まで依頼

○実績

6月：6回、7月：4回、8月：3回、9月：4回 延べ170回放映

※ケーブルテレビ基本情報

動画配信（無料）を依頼。随時、森林税 PR 動画（R6:33 秒、R7:30 秒）を放映

・放映番組：【ictv ケーブルニュース】平日 18 時枠で放映

再放送が当日 19 時、20 時、21 時、22 時、23 時

翌日 6 時、7 時、8 時、9 時 に放映される ⇒ 1 度で 10 回放映

・主な視聴範囲：飯田市、高森町、下條村、喬木村、

豊丘村、大鹿村、泰阜村 約 15,500 世帯

豊かな森林を守り支える「森林税」

7月27日は「信州山の日」 (第4日曜日)

県民共通の財産である「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたって持続的に享受していくため、「山」を守り育てながら生かしていく機運を醸成する機会として、2014年度に長野県独自の「山の日」(7月第4日曜日)が定められた。以降毎年、山の日と、7月15日～8月14日までの「信州山の月間」に合わせ、山の恵みを「親しむ」「学ぶ」「守る」の3つの視点から、各地でさまざまな活動が行われている。こうした活動をはじめ、山や森林を守る活動を支援しているのが「長野県森林づくり県民税(森林税)」だ。

森林税とは?

雨水を豊々きけいな水を育んだり、土砂崩れを防いだり、二酸化炭素を取り込み地球温暖化を防止したりなど、森林から

の恵みを将来にわたって受けられるよう、県は2008(平成20)年度から、森林税として個人一人当たり年間500円(法人は均等割額の5%相当額を徴収し、里山の手入れなどを進めている。

間伐を行うことで木がよたたりが良くなり木がよく育ち、災害に強い森林となり、安全・安心が増す。

木造・木質化
◇やま保育のフィールドや学校の整備
◇まちなかの緑・街路樹の整備
③森林・林業に関わる人材を支え、育てる
◇森林サード産業など森林の多面的利用の支援
森林セラピーやエコツーリズムなど、森

林をさまざまなことに利用する団体をサポートする。

◇多様な林業の担い手の確保・育成
森林・林業に携わる人を確保・育成することで豊かな森林を保つ。

④市町村と協力し地域の森林・林業の課題を解決

◇ライフラインの保全対策・河川沿いの崖岸木伐採・観光地の景観や遊歩道の整備・病害虫被害対策
森林・林業の課題を市町村と協力して解決することで、地域の防災・減災を図り、観光地としての魅力を高める。

森林税を活用した取り組み

①山に木を植えることもに今ある森林の手入れを進める
◇主伐・再造林を促進し、若い森林への更新を加速化する。
育った木を使うことも

にCO2を多く吸収する若い木に植えることで、地球温暖化の防止と林業の活性化を図る。
◇防災・減災のため整備が必要な里山の間伐支援

飯田下伊那地域の活用事例

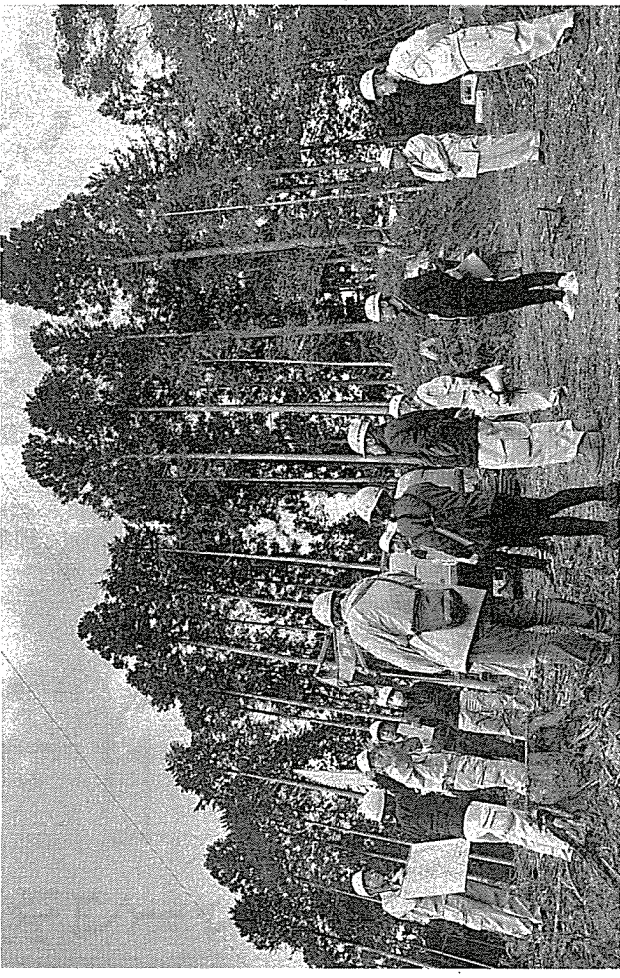
「再造林省力化モデル推進事業」

根羽村の小瀬地区では、

計画的な主伐・再造林を進め、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築するため、2024年度から森林税を活用した「再造林省力化モデル推進事業」(県線の架設撤去にかかる経費の支援)を実施している。

地形が急峻で起伏に富むことに加え、地質が脆弱などの条件から、林業基盤の林道や作業道を開設することが困難な南信州地域では、(架線)を使った集材が注目されている。同村では、村森林組合を中心に架線技術の取得を推進。支柱と支柱の間をワイヤで結び、伐採した木をつるして運搬後、集材機で回収する「架線集材」技術を導入した。

安全で省人・省機材は、完全遠隔操作でドローンのインターロッキング制御を實現。作業の安全性を確保するとともに、通常であれば3人以上で行う作業を1人で実施可能にするなど、省力化や生産コストの削減につな



昨年11月に行われた架線集材技術の視察会(根羽村)

げている。
同モデル事業とは、架線を活用した「集材作業」による主伐後の再造林に係る資材の運搬を行う場合、架線の架設撤去に係る経費などを支援。24年度は同所をはじめ飯田市天理村根羽村の計6カ所で実施されており、表裏面積は計16.19ha。補助金額は584万2400円。

この他、飯田では森林税を活用し、▽県主伐・再造林推進力としてインに基づく再造林とその後のト列等に必要となる経費の全額支援▽二ホシジカなどの食害から植栽後の苗木を守るため林業事業体が捕獲者と連携して行われる見回りなど活動経費支援▽未整備の里山のうち「防災・減災」のため優先的に整備が必要な里山の間伐など森林整備支援▽里山の利活用に係る地盤活動経費の補助・資材導入補助▽森林サード産業を促進するための森林空間整備・施設整備支援などが行われている。
事業の詳細は県南信州地域振興局林務課(電話0265・53・0425)へ。

森林管理と林業の再生をめざします。

飯伊森林組合

代表理事組合長 佐藤 健 代表理事専務 吉澤 悦史 役員員一同
飯田市常盤町30 ☎0265-22-0604

森のエネルギーを
電気に変える

木質バイオマス発電用チップ製造により
クリーンな電力を

有限南信チップセンター

代表取締役 宮内 裕司
飯田市伊豆木6139
☎0265-27-4274

信州木材製品認証工場 根羽の木をふんだんに
用いた木造住宅
地域循環型社会を
目指した
根羽すぎ
住宅

根羽村 根羽村森林組合
根羽村407-10
TEL0265-49-2111
木工加工施設 TEL0265-49-2848

木は 山を守り、地球を守り、
人を守るかけがえのない資源です。

和合森林組合

阿南町和合886
TEL.0260-24-2903 FAX.0260-24-2980
Email wagousin@janis.or.jp

木質バイオマスで
ゼロカーボンに貢献します。

●ベレットストーブ販売・設置
●バイオマスボイラー・配管・設置
●蓄熱式暖房システム設計・施工
SUSTAINABLE GOALS
DEVELOPMENT
森林環境保全活動にも取り組んでいます

飯田建設株式会社
高森町出原373-2 ☎0265-35-2839

信州の
森林税を
知るぞ！



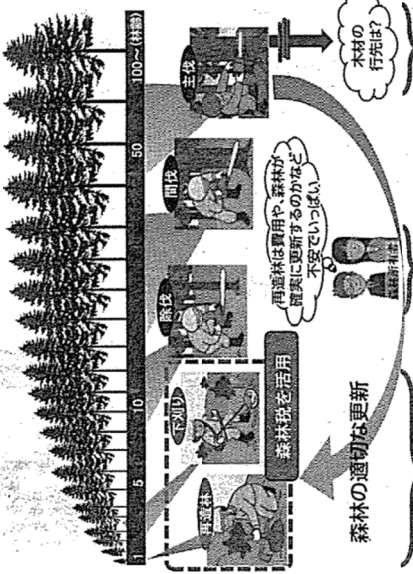
南信州の豊かな森林をもっと身近に。 そして、未来へつなぐために。

長野県では、森林の恩恵を受けている県民全体で森林づくりを支える仕組みとして、平成20年度から「長野県森林づくり県民税」(通称:森林税)を導入し、「森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり」や「森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり」などを進めています。

再造林を進めて森林の若返り

南信州管内の人工林は64,941haで、そのうち51年生以上(木の年齢)が85%を占め、利用可能な森林が増えています。

このため、これまでの間伐を主とした森林整備から、地形等の条件が揃った場所では、計画的な主伐(伐採)と再造林(植林)を進める必要があります。森林税が活用されています。



森林の適切な更新

- ①再造林や下刈りには労働強度が高く主伐・再造林が進まない要因の一つ
- ②森林所有者にとつて主伐後の再造林は、金銭面など不安が多い
- ③伐採された木材が安定した量、価格で取引される仕組みも重要

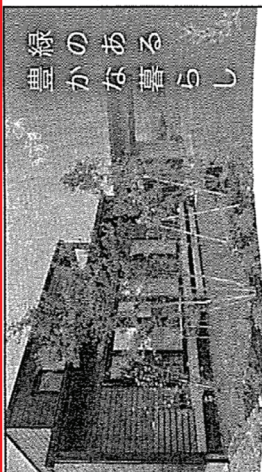


長野県森林課
森林税の詳しい
内容はこちらを
ご覧ください。

長野県南信州地域振興局林務課
TEL:0265-53-0423 Eメール:minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp

下伊那山林協会

飯田市追手町2-2-678(飯田合同庁舎5階)
TEL.0265-22-1179



株式会社 伍福園 TEL.0265-25-2135
【飯田本社/飯田市山本6722-43】

県民文化部・建設部事業

1. やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等

〔信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業（県民文化部）〕

○趣旨 自然保育に係るフィールド等の整備を行う認定園に対し整備費用を支援する。

認定園：自然体験活動を毎月計画的に行う等の認定基準を満たした保育所等

（1）令和6年度実績

（単位：円）

園所在 市町村	整備内容	事業費	補助率	補助金額
松川町1園	危険木伐倒、道路維持	153,450	9/10	138,105
飯田市1園	①森林整備 危険木の剪定、伐採 ②ウッドチップ敷設	1,036,200	9/10	932,580
計				1,070,685

（2）令和7年度実績見込み

（単位：円）

園所在 市町村	整備内容	事業費	補助率	補助金額
松川町1園	危険木伐倒、道路維持	298,200	9/10	268,380
喬木村1園	危険木伐倒、下草刈り	1,116,500	9/10	1,004,850
	転落防止柵の設置	983,400	1/2	491,700
計				1,764,930

2. まちなかの緑・街路樹の整備

〔まちなかの緑地整備事業（建設部）〕

○趣旨 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づく街中の緑地整備を支援する。

（1）令和6年度実績

（単位：円）

事業主体	整備内容	事業費	補助率	補助金額
①飯田市	街路樹剪定 市道1-2号通り町主税町線	1,980,000	1/2	990,000
②飯田建設事務所	街路樹剪定 国道151号	1,400,000		—
②飯田建設事務所	街路樹剪定 （主）飯田駅前 前停車場線	600,000		—
① 補助金額+②事業費 計				2,990,000

(2) 令和7年度実績見込み

(単位：円)

事業主体	整備内容	事業費	補助率	補助金額
①飯田市	樹木植替え 市道1-1号 林檎並木大宮線	2,700,000	1/2	1,000,000
①飯田市	街路樹剪定 市道1-2号 通り町主税町線	1,980,000	1/2	990,000
②飯田建設事務所	街路樹剪定 国道151号	1,400,000		—
②飯田建設事務所	街路樹剪定 (主)飯田停車場線	600,000		—
② 補助金額+②事業費 計				3,990,000

3. 河川沿いの支障木等伐採

〔河畔林整備事業（建設部）〕

○市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援

(1) 令和6年度実績

(単位：円)

事業主体	河川名	事業費	補助率	補助金額
阿南町	井戸沢川	3,500,000	9/10	3,150,000
阿南町	沢尻川	2,500,000	9/10	2,250,000
根羽村	小栃川	2,000,000	9/10	1,800,000
計				7,200,000

(2) 令和7年度実績見込み

(単位：円)

事業主体	河川名	事業費	補助率	補助金額
阿南町	井戸沢川	3,500,000	9/10	3,150,000
阿南町	沢尻川	3,500,000	9/10	3,150,000
根羽村	小栃川	2,000,000	9/10	1,800,000
計				8,100,000

森林税活用事業 一覧表（南信州地域：R 5・R 6実績及びR 7実施見込み）

資料 2

事業名		事業主体	補助率	基本方針 (2023- 2027)	令和5年度実績			令和6年度実績			令和7年度予算額		
				概算事業費 (億円)	全県分	南信州分	%	全県分	南信州分	%	全県分	南信州分 (執行見込)	%
Ⅰ 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり													
再造林の加速化	①	信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の高上げ）等	10/10	11.3	106,685,400	5,350,800	5.0	140,425,790	17,820,390	12.7	244,860,000	35,825,870	14.6
		(うち、翌年へ繰越)						(2,436,500)	(2,436,500)	100.0			
防災・減災のための里山整備	②	防災・減災のための里山整備	9/10	5.5	91,036,000	27,827,400	30.6	118,359,000	12,688,000	10.7	141,775,000	34,991,100	24.7
				16.8	197,721,400	33,178,200	16.8	258,784,790	30,508,390	11.8	386,635,000	70,816,970	18.3
Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり													
県民が広く親しめる里山づくり	③-1	開かれた里山整備事業	9/10	2.8	8,906,400	0	0.0	54,435,600	2,381,400	4.4	32,874,000	0	0.0
		里山整備利用推進協議会、事業体等	10/10		13,675,000	4,964,000	36.3	12,102,000	2,565,000	21.2		4,465,200	30.0
	③-2	開かれた里山の整備・利用推進事業	3/4		3,742,250	869,250	23.2	8,030,000	2,644,500	32.9	23,472,000	2,573,250	
		県	-		1,969,000	県域事業	-	3,080,000	県域事業	-		県域事業	-
広く県民が利用する施設等の木造・木質化等 (木造・木質化支援事業)	④-1	広く県民が利用する施設等の木造・木質化	1/3～2/3	2.0	5,918,000	0	0.0	8,566,000	562,000	6.6	59,900,000	0	0.0
		民間事業者、市町村等	-		7,369,000	0	0.0	12,489,939	0	0.0		0	
	④-2	木工体験の推進支援			(4,234,000)	県域事業	-						
		木材関連事業者が組織する団体	3/4		1,050,000	県域事業	-	1,050,000	県域事業	-	1,500,000	県域事業	-
	④-3	長野県産材CO2固定量認証	-		214,068	県域事業	-	306,012	県域事業	-	600,000	県域事業	-
やま・いくのフィールド整備や 学校の整備等	⑤	信州やま・いく認定団体保育環境向上事業	9/10 1/2	0.3	5,800,000	969,424	16.7	5,672,194	932,580	16.4	6,000,000	1,764,930	29.4
	⑥	学びと育ちの森づくり推進事業	9/10 10/10	0.3	4,121,323	900,000	21.8	5,470,206	2,700,000	49.4	(6,500,000)	0	0.0
			-		1,519,264	0	-	2,212,727	0	0.0		0	0.0
	⑦	まちなかの緑地整備事業	1/2 1/3		1,000,000	0	0.0	4,000,000	0	0.0	4,000,000	1,000,000	25.0
まちなかの緑・街路樹の整備	⑧	まちなかの緑地保全事業	-	0.9	7,960,000	2,000,000	25.1	11,000,000	2,000,000	18.2	17,840,000	2,000,000	22.4
			1/2		2,071,000	990,000	47.8	2,671,000	990,000	37.1		1,990,000	
	⑨	観光地の景観整備（県単道路橋梁維持修繕費）	-	0.5	10,000,000	0	0.0	10,000,000	0	0.0	10,000,000		0.0
Ⅱ 小 計				6.8	75,315,305	10,692,674	14.2	141,085,678	14,775,480	10.5	156,186,000	11,220,130	7.2

事業名			事業主体	補助率	基本方針 (2023- 2027) 概算事業費 (億円)	令和5年度実績			令和6年度実績			令和7年度予算額		
						全県分	南信州分	%	全県分	南信州分	%	全県分	南信州分 (執行見込)	%
Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援														
森林サードビジネス産業など森林の多 面的利用の支援	⑩-1 森林サードビジネス産業活動 支援事業	市町村	9/10 1/2	森林空間整備・施設整備	9,020,301	2,852,000	31.6	14,972,370	5,377,500	35.9	30,629,000	2,800,000	9.1	
				(1,740,000)	(1,740,000)	100.0								
		県	-	森林サードビジネス産業創業支援・地域活動支援	816,333	県域事業	-	3,520,441	県域事業	-		県域事業	-	
		県	-	企業連携活動	628,339	県域事業	-	382,486	県域事業	-		県域事業	-	
	⑩-2	県	-	ニーズ把握調査・推進体制整備	700,289	県域事業	-	3,212,300	県域事業	-		県域事業	-	
		県	-	森林サードビジネス産業人材育成支援事業	2,646,878	県域事業	-	2,892,300	県域事業	-		52,000	1.0	
	⑩-3	県	-	里山利活用人材の育成	2,791,800	県域事業	-	2,943,600	県域事業	-	5,335,000	県域事業	-	
		県	-	地球温暖化防止吸収源対策推進事業	52,046	県域事業	-	75,609	県域事業	-	290,000	県域事業	-	
	⑪	県	-	信州ネイチャーセンター構築事業	1,899,700	県域事業	-	1,998,617	県域事業	-	2,000,000	県域事業	-	
	⑫ 多様な林業の担い手の確保・育 成	県	-	多様な林業の担い手確保育成事業	2,068,000	県域事業	-	3,646,640	県域事業	-		県域事業	-	
林業労働財団		10/10	3,363,677		0	0.0	7,808,000	0	0.0	20,768,000	0	0.0		
Ⅲ 小 計						23,987,363	2,852,000	11.9	41,452,363	5,377,500	13.0	59,022,000	2,852,000	4.8
Ⅳ 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決														
ライフライン等保全対策 (市町村森林整備支援事業)	⑬-1	市町村	9/10	ライフライン等の保全対策	69,439,000	21,942,000	31.6	62,969,000	17,678,000	28.1	40,000,000	14,903,000	37.3	
	⑬-2	市町村	9/10	観光地の景観整備	34,810,000	5,336,000	15.3	25,710,000	1,949,000	7.6	24,300,000	2,145,000	8.8	
	⑬-3	市町村	9/10	緩衝帯の整備	15,107,000	2,874,000	19.0	32,565,000	7,769,000	23.9	28,000,000	4,405,000	15.7	
	⑬-4	市町村	9/10	枯損木利活用	21,326,000	1,093,000	5.1	41,510,000	4,322,000	10.4		5,500,000	7.4	
	⑬-5 病害虫被害対策 (市町村森林整備支援事業)	市町村	1/2	森林の外被害木処理	4,847,000	0	0.0	6,804,000	396,000	5.8	74,000,000	0	0.0	
市町村		1/2	未被害市町村処理	2,886,000	0	0.0	3,068,000	0	0.0		0	0.0		
河川沿いの支障木等伐採	⑭	市町村	9/10	河畔林整備事業	38,510,000	8,190,000	21.3	40,050,000	7,200,000	18.0	42,480,000	8,100,000	19.1	
Ⅳ 小 計						186,925,000	39,435,000	21.1	212,676,000	39,314,000	18.5	208,780,000	35,053,000	16.8
Ⅴ 普及啓発、評価検証														
森林づくりを推進するための普及 啓発、森林税事業の評価・検証	⑮-1	県	-	みんなで支える森林づくり推進事業	4,780,158	230,972	4.8	5,538,097	206,998	3.7	7,128,000	243,000	3.4	
	⑮-2	県	-	「体験学習の森」事業	1,224,700	県域事業	-	1,167,890	県域事業	-		県域事業		
Ⅴ 小 計						6,004,858	230,972	3.8	6,705,987	206,998	3.1	7,128,000	243,000	3.4
合計						489,953,926	86,388,846	17.6	660,704,818	90,182,368	13.6	817,751,000	120,185,100	14.7



森林づくり県民税活用事業の今後の方向性について

1 趣 旨

各事業の課題や進捗状況に対する第1回会議時のご意見等を踏まえ、次のとおり事業の改善や基本方針の修正を図りたい。

(第1回会議での主なご意見)

- ・森林税基金残高が増えているのは改善が必要（地域会議でも指摘あり）
- ・主伐・再造林の推進には、必要な予算を必要な地域にしっかりと配分する必要がある
- ・アカマツの更新伐について、材価等の問題から採算が合わず、手を付けづらいのでは

2 事業の今後の方向性

(1) 事業の進捗等に課題のあるもの

《主伐・再造林の加速化》

- 今年度の再造林面積は、計画面積 580ha に対して約 300ha 程度と見込まれ、今後2年間に増加傾向で推移した場合でも目標面積の達成は困難な状況（表1）。

表1 再造林面積の推移

	R5	R6	R7	R8	R9	合計
当初計画	260	420	580	740	900	2,900
現在の見通し	247	238	300	—	—	—

- 主伐・再造林の加速化は本県森林行政の最重要課題の一つであることから、事業費を最大限活用した上で、少しでも進捗が図れるよう、事業の改善、森林税の活用等に取り組んでいくことが必要

【主な課題と取組（案）】

- ・ 地形や樹種の違いにより収益性に差がある
 - ⇒：地形条件に沿った補助単価の検討
 - ：主伐が進むカラマツ以外の樹種の付加価値向上に取り組む
- ・ 再造林意欲のある事業者のニーズ（国庫補助金の配分要望）に応えきれていない
 - ⇒：執行残額が生じる箇所を早期に把握し、執行残額を意欲のある事業体に再配分
 - ：国庫補助金を代替する形での森林税の活用（県単独補助の導入）
- ・ 種の供給が凶作、豊作に左右され不安定
 - ⇒ 安定的な種の確保に向け、種を採取する際の作業車のリース費用等を支援

《防災・減災のための里山の整備》

◆ 間伐

- 第4期計画期間（R5～R9）の事業進捗が低調であり、積極的に活用されるよう事業の見直しを行うことが必要
- 対象区域で当事業を活用しない間伐もあり、これらを含め適切に効果を評価することが必要

【主な課題と取組（案）】

- ・ 主伐を一定期間制限するなどの転用制限期間（10年）等を定めた協定締結が負担
（転用制限期間が長い（他事業5年）、事務作業が負担）
⇒ 協定締結を廃止（過去に実施した箇所については協定期間を見直し）し、転用制限期間を他事業と同じ5年間に統一
- ・ 間伐のみが補助対象であり、他の森林整備との組み合わせができない
（例えば、間伐と緩衝帯の整備）
⇒ 緩衝帯の整備やライフラインの危険木伐採等の他の森林整備も補助対象に追加
- ・ 森林税を活用しない防災・減災のための間伐も一定程度進んでおり、進捗管理を合わせて行うことが必要
⇒ 他の事業を活用して整備された箇所 約138ha（H30～R6）も実績値として加算

◆ 更新伐

- 松くい虫被害の特性を踏まえた整備が進むよう、基本方針の事業概要を一部修正する



【現状と改善の方向性（案）】

- ・ 被害箇所は令和3年～5年で微増傾向であり、依然として対策すべき箇所が多い
- ・ 松くい虫被害の特性（単木→山一帯への広がり）から、住民や観光客の防災及び景観上の心理的不安につながる
⇒ 上記の観点から、人々の目につきやすく景観にも配慮する箇所から整備を進めることとし、被害木が適正に処理できるよう補助単価を設定する

【基本方針のうち事業概要の改正】

	現行	改正案
事業概要	土砂災害や流木被害等を防止するための里山の間伐等整備	土砂災害や流木被害等の防止、 景観の改善をするための 里山の間伐等整備

(2) 県民ニーズが高い事業

➤ 目標値の修正を行うもの（事業費は当初計画の範囲内で実施）

《学校林の整備等（学びと育ちの森づくり推進事業）》

- 子どもの森林・林業への理解と関心を深め、健全な心と体の育成に向け、学校等の教育の場で森林の活用ニーズが高い状況
- 初年度（R5）に予定を大きく上回る箇所の整備が進み、令和8年度には目標を達成する見込みだが、目標値を上方修正して取組を継続する。

【各年度の実施状況】（目標値との増減）

R5年度 19箇所（+9）

R6年度 5箇所（±0）



ウッドチップの敷設（松本市）

【目標値の上方修正（案）】

指標	現状	改正案
学校林整備等の実施箇所数	30箇所/5年	35箇所/5年

《河畔林整備事業》

- 令和5年度、令和6年度ともに、目標を超える箇所の整備が進んでおり、令和8年度には目標を達成する見込み（財源は入札差金を有効活用して実施）
- 近年の集中豪雨等による災害の発生状況等から、依然として、地域のニーズが高い状況であり、目標値を上方修正して取組を継続する。

【各年度の実施状況】（目標値との増減）

令和5年度 19箇所（+5箇所）

令和6年度 18箇所（+4箇所）

整備状況（駒ヶ根市）



【目標値の上方修正（案）】

指標	現状	改正案
河川沿いの支障木伐採	70箇所/5年	85箇所/5年

➤ 目標値の記載方法・内容の修正及び事業費の増額を行うもの

《ライフライン等の保全対策、観光地の景観整備、緩衝帯の整備（市町村森林整備支援事業）》

【目標値及び事業費の上方修正】

ライフライン等の保全対策と緩衝帯の整備事業については、災害への備えやクマ出没事案の多発を背景に、依然として地域ニーズが高い状況であることから、目標値及び事業費を上方修正の上、取組を継続させたい。

事業費については、これまでの不執行額を活用して対応する。

【運用方法の見直し】

事業毎に目標値を設定しており、災害等の突発的な事案に対応することが困難な状況であることから、柔軟な対応を行えるよう、3事業を統合（大括り化）して弾力的に運用する

【改正内容案】

項目	現行		改正案
	目標値	森林税額	
ライフライン 等の保全対策	整備箇所数 150 箇所/5 年間	2.0 億円	整備箇所数 440 箇所/5 年間 森林税額 4.8 億円
観光地の景観 や緩衝帯の整備	観光地の景観整備箇所数 100 箇所/5 年間 緩衝帯の整備箇所数 100 箇所/5 年間	2.0 億円	(内訳) ライフライン 190 箇所/5 年間 観光地の景観整備 100 箇所/5 年間 緩衝帯の整備 150 箇所/5 年間

1 地域会議で挙げられた意見等

(1) 地域または全県の課題として検討を要する事項

構成員からの意見	対 応
防災・減災のための里山整備について要件緩和をお願いしたい	当地域の状況は、以下のとおり R6実績【29.6ha】 ⇒ R7実績見込み【71,29ha】 また、森林税事業について、協定締結の廃止等、運用の改善を図る
道路際の樹木が大木化し、障害木が多くなってきた。特にナラ枯れが進行する状況がある	ライフライン沿いで対応できる部分は、市町村事業が活用出来るかの状況になる また、市町村森林整備支援事業は地域ニーズが高いことから、目標値及び事業費を上方修正し、取組みを継続する
これから若い方達が森に関わるところとして、普及活動、広報やイベントなど、裾野を広げる活動も必要と思っている。そうした取組みがあればお聞きしたい	「森林サービス産業など森林の多面的な利用の支援」が、場づくりとして、我々も取組まなければならないことと考えている 木曽谷・伊那谷フォレストバレーでも普及啓発活動に力点を置いて取組みがされているほか、局では昨年度から「暮らしの中の木製品市」を開催し、木製品の利用を通じた森林の理解を得るイベントを開催している

(2) その他、構成員から挙げられた意見等

構成員からの意見	回 答
里山整備協議会を今後どのように進めていくのかお聞きしたい	当面の目標が終わった後をどう進めて行くのか、各市町村の普及指導に関わる皆さんともご相談いただく中で一緒に考えていきたい

2 その他

再造林加速化の関係について、今年から新規事業で「再造林省力化モデル推進事業」が始まり、皆伐は国からの補助金が用意されてない中、架線の設定や撤去にかかる費用を県独自で補助をしていただき大変、助かっている